

猛暑の中、勤務中の社員倒れる！

8月28日、交番検査車両所の社員が、勤務中体調が悪くなり、救急車で搬送されるという事態が発生しました。この社員は屋根上作業に従事しており、幸いにも屋根上作業終了後体調が悪くなり、屋根上から転落ということは避けられましたが、一歩間違えば大惨事になった可能性もあります。救急車で搬送された後、点滴を受け現在回復に向かっていますが、会社はこの事態を教訓に職場環境を改善する必要があります。社員の倒れた最大の原因は、暑い庫の中での作業が挙げられます。また、土曜出勤もあり連続6日の出勤、詰所が狭い、作業で放送が錯綜し危険な状態。など劣悪な職場環境も挙げられます。会社は早急に職場環境を改善する必要があります。

職場環境を改善する気のない

会社を許さず職場から声を出そう！

早急な職場環境の改善が求められている中ですが、会社は改善をする意志がありません。以下、協約・協定改定交渉での交番検査に関わる会社の回答です。

組合：検修庫の暑さ対策を明らかにすること。又、水分補給のための飲み物を全職場で用意すること。

会社：防暑対策は作業環境の改善及び労働災害防止の観点からも、ハード及びソフトの両面から過去より検討し実施してきている。水分補給に当たっては既設のものを使用されたい。

組合：東京交番検査3班は庫1番線で施行しているが、窓のない箇所や海側のサービスデッキの関係で熱がこもり熱中症などの危険性が高い。又、庫7番線の山側通路は協力会社の自転車が多数駐輪しているため、ターレットやテーブルリフターの通行に支障がある。更には、庫8番線は放送が錯綜し危険な作業を強いられている。これらを解消し、交番検査をスムーズかつ安全に施行できるように交検検査用の庫を独立させ設置すること。

会社：そのような考えはない。

組合：大井基地現業事務所事務所棟において、7階交番検査詰所のスペースが狭く衛生上も問題があり広くすること。

会社：そのような考えはない。

組合：東京及び大阪交番検査車両所の休日は、土・日・祝日とすること。

会社：そのような考えはない。

安全で明るく働きやすい職場環境をつくるため闘おう！